

第154回（平成22年度第3回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成22年7月31日（土）15：35～17：02
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館4階第1研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）佐藤 嘉彦、山田 力、片 忠夫
（専務理事）上田 英之
（常務理事）清水 忠、木村 徳善、徳本 進、吉岡 去私
（理事）金子 理人、国島みどり、青木 文明、本田 衛義、高柴 一彦、
岡田 良平、小池 光、佐々木生道、森本 珠水、中村 浩人、
伊藤 敏光、黒川 正孝、和田 幸一
欠席理事：（会長）河野 太郎
（理事）大澤 康之、吉野 大成
4. 出席監事： 井上 敏郎、内海 雄三
5. 議長選出： 上田 英之専務理事を指名
6. 議事録署名人選出：小池 光理事、金子 理人理事を選出
7. 書記： 山下 てるみ広報委員を指名
8. 議 事

1) 教育本部

(1) 報告事項

木村本部長より、次の通り報告があり、了承された。

①教育部会の開催

期日：6月26日、7月3日、10日、17日の4回開催、 場所：県民センター

出席：清水常務、木村本部長、岡田、小池、佐々木、森本、中村理事

議題：各担当の配置、執行方針の具体化、各委員会の正副委員長選出、指導員フェスティバルとのコラボ等について協議した。

②スノーボード強化委員会

期日：7月21日（水） 場所：県社会福祉会館

出席：小池理事、岩森、高橋、甲田、御園専門委員

議題：新年度強化指定選手選出等を協議

③教育作業部会

期日：7月24日（土） 場所：県連事務所

出席：清水常務、木村本部長、佐々木、小池理事

議題：SAKツールの作成作業

④教育本部執行方針の具体策の報告

木村本部長より、別添資料のとおり各事業の見直しについて報告があり、片副会長からこのように提出されれば、できなかったときの責任が生ずるが大丈夫かとの質問があり、佐藤副会長から実際に実施していくスケジュールが重要になり、先延ばしはできないと認識すべきとの意見があり、木村本部長から各部会のなかで具体化をしてゆくとの回答があった。

(2) 審議事項

①スノーボード強化指定選手について

木村本部長より、別添資料のとおり選出規程に基き、強化指定選手の提案がなされ、評議員会で既に承認済みであるが、再度事後承認された。

②教育本部事業変更について

木村本部長より、別添資料のとおり、千葉・神奈川県スキー技術選大会、湯沢Ⅰ行事、準指導員理論検定会及び車山Ⅴ行事の日程変更について提案がなされ、次の質疑があった後、承認された。

(山田副会長) 11月13日に理論講習3があるがその後に理論検定会があるのか。

(木村本部長) そのとおり。

(山田副会長) 講習と検定の間を空けて欲しい。翌年度もこうなるのか、また、理論検定を神奈川で実施する理由は。

(木村本部長) 実技検定を土日の2日間としたことで、受験し易くしたが、その日程の中では理論検定までは、盛り込めないという事情からで、次年度以降も実技と理論の検定場所を分ける方針である。

(片副会長) 前回の評議員会で組織運営事項として承認された事項の変更で、教育委員会にも届出済みであるので、日程変更を教育委員会へ報告する必要がある。

引き続き、木村本部長から競技本部とのコラボの提案がなされ承認された。また、11月13日の指導員研修会(理論)の外部派遣講師を市野聖治氏に依頼したいとの提案がなされ、佐藤副会長からこの数年同じ市野氏だがそれでいいのかとの質問が、岡田理事から市野氏でも違う内容の講習依頼をするなど工夫はできるのではとの意見があり、引き続き検討することとした。

2) 競技本部

(1) 報告事項

①市町村対抗スキー競技会について

吉岡競技本部長より、前回理事会で継続審議となっていた標記について、常務会報告を経て別添の実施要綱案のとおり報告があり、少年組のみ在学要件とし、他のクラスは在住を要件とすることで、了承された。

②執行方針の具体化について

吉岡本部長より、別添資料のとおり報告があり、佐藤副会長から環境問題と健全な青少年育成に関しては、もう少し具体的な方策の記載が欲しいとの意見があり、了承された。

山田副会長から、資料訂正について指摘があり、総合体育大会の参加資格について「在勤」削除が確認された。

(2) 審議事項

①駅伝大会の日程変更について

吉岡本部長より、相模原市で開催される駅伝大会について、当初予定の11月14日に相模原市の行事があるため、11月7日に変更したい旨の提案がなされ、承認された。

3) 総務本部

(1) 報告事項

①慶弔関係 なし

②資金運用状況

金子理事から、本年度6月末現預金残高6,666,627円との報告があり了承された。

③登録状況

本田理事から、21年度確定数について、総数5465人、264団体で、前年比194人の減との報告があり、了承された。

④電子申込委員会

金子理事から、7月3日(土)に教育、競技本部担当者とデジサーフとの打ち合わせを実施し、

来年度から電話対応も加えることとなったとの報告があり、了承された。

⑤普及振興委員会

青木理事から、横浜・厚木地区以外の地域への拡大について検討中との報告があり、了承された。

⑥協賛会員拡大委員会

本田理事から、現在9社の申込があったことと、評議員会での質疑に係る対応を至急行いたいとの報告があり、了承された。

⑦HC委員会

国島理事から、7月12日第1回委員会開催し、前年度の振り返りと新年度体制について協議との報告があり、了承された。

⑧広報委員会

青木理事から、7月7日に委員会開催し、以降SAKだよりの編集作業中との報告があり、了承された。森本理事から、スキンググラフィックに掲載する原稿はどのように選択しているのかとの質問があり、青木理事から、総務・教育・競技の各本部から依頼があれば掲載するが、今後各本部に確認していくとの回答があり、了承された。

⑨常務会報告について

徳本総務本部長より、7月23日（土）開催し、内容は競技本部から報告済である「市町村対抗スキー競技会」について協議したとの報告があり、了承された。

⑩総務本部事業方針の具体化策報告について

徳本総務本部長より、別添資料のとおり報告があり、了承された。

⑪協賛依頼資料の見直しについて

徳本総務本部長から先ほどの委員会報告のとおりと報告があり、佐藤副会長から、前年度資料の焼き直しをやめて、新しい感覚の資料の作成について意見があり、その方向で検討することで了承された。

⑫県体協「加盟団体へのいじめ防止啓発横断幕の配布」について

金子事務局長より、各本部1枚ずつ3枚の交付申請を行うことで、了承された。

⑬副会長の仕事割り振りにについて

片忠夫副会長より、別添資料のと通りの割り当てにしたいと報告があり、了承された。

(2) 審議事項

①平成21年度事業・決算報告の承認

②平成21年度監査報告の承認

上田専務理事より、先の評議員会で承認された、平成21年度事業報告・決算報告及び監査報告をまとめて提案がなされ、承認された。

③SAK専門委員の追加推薦について

徳本本部長より、別添資料のとおり、追加推薦の提案がなされ、承認された。

④特別理事推薦規程について

徳本本部長から、別添資料のとおり提案がなされ、佐藤副会長から「以前規程を制定してあったが、それが廃止されたとすると、その経緯を調べる必要があること。」また、片副会長から「私もそう記憶するが、いずれにせよ、規約規程委員会に諮るべき問題だと思う。」との意見がだされ、次回以降再度検討することとした。

⑤H22年度神奈川県体育功労者表彰の候補者選考について

金子事務局長より、県教育委員会から候補者選考依頼があり1名の推薦枠があるので、退任役員のうち、未受賞の方を推薦しており、今年度は、山田隆前副会長を推薦することの提案がなされ、承認された。

4) 監事意見

内海監事より、評議員会での審議順序について、監査報告を行った後で、質疑及び採決を行うべきとの発言があった。それに対して、評議員会報告が監査報告をしないで質疑応答に入り承認されたことについて、審議順序が誤りであったことが確認された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成22年 8月 10日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印